

藍住町

第86号

平成28年8月25日

6月定例会

一般質問 ～市政のことが聞きたい～

.....P.3～6

議員研修報告

.....P.7

わたしの一言・議会のうごきP.8

議会だより

～プール楽しい!!～ (藍住南幼稚園)

6月議会定例会が6月6日から23日までの18日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

一般質問では4人の議員が登壇し、町政について質問しました。

6月定例会

～町長提案～

- 平成27年度藍住町一般会計補正予算の専決処分（※1）の報告と承認 ……原案可決
歳入歳出それぞれ1億4,600万円を増額し、予算総額を110億3,200万円とする
- 藍住町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認 ……原案可決
地方税法等の一部改正に伴う改正
- 藍住町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認 ……原案可決
課税限度額の引上げ及び軽減措置の拡充が講じられることに伴う改正
- 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部改正の専決処分の報告と承認 ……原案可決
行政不服審査法施行に伴う改正
- 藍住町放課後児童健全育成事業に関する条例の一部改正 ……原案可決
対象児童の年齢を拡大し、小学校に就学している全学年の児童とするための改正
- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく
個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正 ……原案可決
個人番号の独自利用について事項を定めるための改正
- 藍住町職員の退職管理に関する条例の制定 ……原案可決
- 公共下水道（A7-2期）南部支線管渠工事（第3工区）の請負契約の締結 ……原案可決
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意 ……岡田 弘 氏

※1 専決処分とは？（地方自治法第179条）

町長が議会を招集する時間的余裕がない場合に町長が議会に代わって、議会が議決すべき条例・予算などの案件を処理すること。

町長が専決処分をした場合は、次の会議で議会へ報告し、承認を求めなければならない。

～報 告～

- 平成27年度藍住町一般会計繰越明許費（※2）繰越計算書の報告
繰越総額 2億1,760万円
- 平成27年度藍住町一般会計継続費繰越計算書の報告
繰越総額 5億3,440万円
- 藍住町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出

※2 繰越明許費とは？

特定の事業や特別の事情（天候の都合など）で、年度内にその支出を終わらない見込のあるもので、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して使用できる経費（地方自治法第213条）。

町長は翌年度の5月31日までに繰越計算書を調製し、次の議会の会議で報告しなければならない（地方自治法施行令第146条）。

～議員提案～

- 板野警察署の存続を求める意見書 ……原案可決
- 議員派遣の件 ……原案可決

～請 願～

- 南小グラウンド周辺の大樹を「保存樹木」に指定する請願書
（3月議会において継続審査となっていた請願） ……不採択
請 願 者 福永 三七男 氏
紹介議員 西川 良夫 議員

～諮 問～

- 人権擁護委員候補者の推薦 ……渡邊 章 氏

防災・熊本地震の災害状況把握と 今後の南海巨大地震対策

熊本地震の問題点等を参考に避難対策、計画を進めていきたい



永濱 茂樹 議員

問 5月上旬、徳島県防災センター所長さんに熊本地震の災害を教訓に、避難所等についての指導をお願いし、資料を頂きました。避難者の生活の実態や、重要なチェックリストとして、トイレの確保・管理、女性・子供への配慮、ベッドの対応、健康管理等、詳細に説明がありました。町行政として、今後の対策、計画を伺いたい。

また、5月29日、防災センターで「布田川・日奈久断層が引き起こした熊本地震」と題して、徳島大学大学院・村田明広教授が講演を行い「熊本地震では、短時間で震度7が2回も起きており、観測史上初である。様々な調査で活断層や地震の実態等が明確になってきている。活断層は予想外

にくるので、普段からの対策が必要。」とのことでした。

行政として、南海地震に備え避難所用地確保の計画、活断層等の把握のための早期対策を。

また、防災講座や災害に對しての講演会での周知対策を早期に講じていただきたい。

答 避難の方法や、避難所の運営、情報伝達、また住宅の耐震化の推進など、様々な防災対策、避難対策を進めていく必要がある。

熊本地震の状況や問題点等を参考に、本町の避難対



震災の模様（益城町）

策や避難所運営などに生かしていきたい。

防災講座については、自治会や自主防災組織、各種団体からの申込みを受け、休日、夜間を問わず実施しているところだが、専門家や現地に行かれた方などの話も聞ける機会、講演会や勉強会等も考えたい。

今後も、住民の皆さんの防災訓練への参加促進、防災マップやハザードマップの見直しと活用などを図るとともに、災害時や緊急時に速やかに対応できるよう、日頃から点検や訓練を行いたい。

その他の質問

- ◎愛情を持った寛容な家庭教育（「親は子の鏡」「親の背中を見て子は育つ」）
- ◎教育者は子供の長所を伸ばす指導で子供とのきずなを
- ◎福寿会「地震対策・年金詐欺問題」の勉強会を

緊急地震速報・防災無線、 トランシーバー等の習熟訓練

職員に対して使用方法等の説明を実施



問 以前、誤って速報が出された事例がある。防災無線の見直しを。

答 防災無線の保守点検は年1回。また、国、県の通信テストと訓練、随時点検を行っており、各拡声個局については、確認機能で毎日正常に作動しているかどうかの確認をしている。

移動系の防災行政無線機は、台風時や避難所の開設訓練時に、職員に対して使用方法等の説明を実施し、使用する可能性がある職員の全てが、使用できるようにしておきたいと考えている。

職員の人事評価制度は 適正・公平な評価に努める

問 ①町では2007年に人事評価制度を取り入れたが、その後の状況は。

答 ①本年度の評価から、人事給与等への反映も求められており、職員の士気を

高め、やる気をなくさせない適正・公平な評価に努める。

②昨年、正規職員の給与の改定額以外に、通勤手当や時間外手当、休暇制度等の一部見直しを行っている。

町財政の健全化を 組織的に対応している

問 失業や病気等で所得が減れば、たちまち生活が行き詰まり、多くの国民が貧困に陥る危険と隣り合わせで暮らしている。暮らしや営業が悪くなると、町財政にも大きな影響を及ぼす。

また、暮らしが大変な人には生活保護も勧めたり、困っているときに温かい手を差し伸べることで信頼される町政になる。

①一般会計と特別会計の滞納額は。

答 ①平成27年度末の一般会計滞納額2億6126万6千円、特別会計1億9339万4千円。

②種類や期間、金額等による滞納内容の分析や納税相談を実施。滞納理由については様々である。

③中学校531万2千円、小学校567万6千円、幼稚園29万円。

納付されていない方には、催告書を年2回送付しており、随時、電話や訪問により納付を促している。



林 茂 議員

②長期滞納者への対応と滞納の理由は。

③給食費の滞納状況と原因、未納者に対する対応は。給食費の半額補助制度、就学援助申請を勧めること。

町発注工事は地元業者に

今後とも指導していく

町発注工事の状況

(単位：円)

契約種別	所在	平成26年度			平成27年度		
		発注件数	請負金額	業者数	発注件数	請負金額	業者数
随意契約	町内	30	23,657,861	17	47	51,061,170	15
	町外	45	82,355,400	11	48	103,344,120	15
小計		75	106,013,261	28	95	154,405,290	30
指名競争入札	町内	20	206,040,558	17	24	425,551,320	24
	町外	9	210,224,160	9	13	158,942,520	13
小計		29	416,264,718	26	37	584,493,840	37
合計		104	522,277,979	54	132	738,899,130	67

※ 請負金額50万円以上の工事

問 公共工事は町民の税金が原資である。町内業者の仕事を増やすことによって地域経済が活性化し、町税収も増加する。

①指名入札と随意契約の発注状況は。随契約で町内業者に2割から3割しか発注されていない理由は。

②大手発注工事の下請業者は地元業者優先と、積算された賃金支払要請を。

③町内業者の仕事確保のために住宅リフォーム助成制度を。

④太陽光発電普及策は、施設の屋上利用や一般家庭へ補助制度をつくる。

答 ①別表参照。

町内に舗装業者がなく、町外業者に発注せざるを得ないことが考えられる。

②契約時には町内業者を優先してもらえようをお願いしており、今後とも指導をしていく。

③県のリフォーム助成制度を進めたいと考えている。

④現在、図書館や町民体育館に太陽光発電の設置を行っており、今後は、状況により検討していきたい。また、一般家庭への普及策は、固定価格買取制度があり、余剰電力を有利な条件で売電できている。

子育て支援について

広域事業を実施、より充実したサービスの提供ができるようになった

問 病児・病後児保育事業は、保護者の子育てと就労の両立を支援したもので保護者が就労等により、病気になる児童の保育が困難な場合に一時的に子供を病院や保育所で保育することですが、子育て世代の多い本町において、この事業は子育て家庭を支える環境づくりとして、保護者への安心感につながる重要なものです。

この事業の実績と今後の取組について尋ねます。

答 富本小児科・内科の「うちさちゃん病児保育室」の利用者は813人で、本町の他市町の施設利用者は78人。また、保育園登園後に幼児が体調を崩し、保護者が迎えに来るまでの間、看護師により見守りを行う体調不良型病児・病後児保育事業をあいずみ保育園、あいずみひまわり保育園の2保育園で実施。

病児保育室の利用対象者が小学生に拡大されたため、今後の利用、定員等については検討していく。

交通安全指導について

今後、一層の指導に努める

問 全交通事故者に占める自転車事故の割合は、全国平均は13%、徳島県では20%以上と多く、平成28年4月1日、「徳島県自転車の安全で適正な利用に関する条例」が施行されました。自転車を利用する人に対し、ヘルメットの着用や自



西岡 恵子 議員

また、損害保険のパンフレット等の配布を行い、呼び掛けはしているが、実際の加入状況は把握できていない。

転車の点検整備、損害賠償保険の加入促進が努力義務となり、本町での生徒に対するこれらの指導、把握はどのようにされていますか。

答 小中学校では交通安全教室を開催し、ヘルメットの着用や左側通行など交通ルール・マナーについて、学級活動等で適宜指導を行い、安全意識の高揚に努めている。

防災用備蓄品について

食品や毛布、発電機等を保管

問 4月14日の熊本地震より、備蓄品への関心も高まっています。町はどのような物資を備蓄しているのか、賞味期限、消費期限のある物資についての取り扱い、物資調達の年次計画について尋ねます。

答 アルファ化米、粉ミルク、給水袋、簡易トイレ、発電機等。アルファ化米等の保存年限は5年、粉ミルクは1年で、消費期限のある物は防災訓練等で試食や小中学校の児童生徒へ配布を行っている。また子供の食事、おやつ確保はアレルギー対応のことも考え、できる限り備蓄していきたい。

その他の質問

◎ 正法寺川の浄化・清流ルネサンスⅡについて



備蓄品の状況（藍住町防災備蓄倉庫）

福祉対策について

あらゆる機会を捉えて啓発活動を行う



小川 幸英 議員

問 ①藍住町は介護保険料が県下でも高い。どうしても高いのか。

②介護予防対策はどのようにしているのか。

③認知症患者の実情について、昨年11月末までの要支援、要介護認定者数は1380名で、そのうち754名が認知症の判定とこのことであるが、本年度は、その後どうなっているのか。増え続ける認知症に対して早期診断、早期受診が必要と思われるが、どのように対策しているのか。

答 ①保険料は3年間の介護認定者数、各種介護サービス量や地域支援事業等の見込み量を推計し算定するため、介護サービスを提供する事業所が多い本町では、保険料が高額になる傾向にある。



脳力アップ教室の様子（体育センター）

②いきいきサロンや脳力アップ教室等を開催。更に多くの高齢者の皆様に参加していただけるよう、事業の内容を十分検討し、広報等による周知を図りたい。

③平成28年4月末までの要支援・要介護認定者数は1462名で、754名が認知症の判定を受けている。早期発見早期受診については、町民の方を対象にした各種講習会等で啓発活動を行う。

（仮称）藍住町文化ホール 公共施設複合化事業について

具体的な管理運営計画を策定し、
町民の皆様にも周知を図りたい

問 平成27年12月に行われた7社での入札は、1社だけの入札で不調に終わり、今年3月17日に行われた2回目の入札は7社全部が辞退という結果となった。町長は提案理由の中で、「3度目の入札不調は、絶対回避しなければならない。辞退理由を精査した上でスーパージェネコン5社を指名し、6月20日に入札を実施する。」とのことであった

が、1回目、2回目と同じ条件で入札できるのか。不調になったときの対策はしているのか。

答 スーパージェネコン5社を指名し、6月20日に入札予定で、この入札の結果を慎重に見守っていきたいと考えている。また、不調になった後のことについては、現在のところ考えてない。

その他の質問

◎選挙について
◎子育て支援について

保育所の待機児童について

認可保育所等の新設により定員増を図りたい

問 3月議会では、待機児童は30人とのことで、待機児童ゼロに向けて抜本的な対策をしているとのことであったが、その後どうなったのか。

答 既存施設の改修、改築事業や、あおば保育園の認可化、中央保育所の定員見直し等を行い、定員の弾力化を図るなど、入所増の対策を講じたが待機児童の解消には至っていない。

議員研修報告

町村議会広報クリックに参加

議会議員 徳元 敏行

都知事選挙告示日の朝、羽田空港着、半蔵門近くの全国町村議員会館へ移動。途中、小池候補、増田候補の選挙カーと遭遇。首長選挙の熱気を肌で感じました。

研修は、参加11町村の広報誌ごとに分析を加えて、小見出し・余白の活用・色使い・文字の配列・大きさ・写真・イラスト・グラフ・表を使い、読みやすく理解しやすい誌面に校正するようにアドバイスがありました。

終了後、銀座、有楽町に出店している各県のアンテナショップを視察。徳島県・香川県合同のショップは、共に店の充実が必要であると感じました。



徳島県町村議会議員研修会に参加

7月19日、徳島県町村議会議員研修会が「徳島グランヴィリオホテル」で開催され、本町全議員が参加しました。研修会では次の方々による講演が行われました。

★国際政治・軍事アナリスト

小川 和久 氏

「日本人に国を守るのか」

★福山大学客員教授

田中 秀征 氏

「最近の政治と経済」



「徳島県女性議員連盟視察調査」・「町村議会女性議員連盟総会」に参加

5月26日、勤労者福祉ネットワークにおいて女性議員連盟視察調査が開催されました。また、7月29日には女性議員連盟総会が徳島市自治会館で開催され西岡恵子議員が参加しました。



「板野警察署の存続を求める意見書を徳島県知事、徳島県警察本部長、徳島県議会議長に提出」

(概要)

近年、高齢者を中心に大きな被害が発生している特殊詐欺、携帯電話の普及及び高速インターネット網の整備に伴うサイバー関連犯罪など、新たな犯罪についても危惧されている。

このような中、「板野警察署と徳島北警察署の統合」は、地域住民の生活に大きな影響を及ぼすものであることは間違いない。果たしてこれまで以上に確実に治安が維持できるのか、大きな不安を抱かざるを得ない。

昭和45年に板野警察署が設置されて以来、長い歴史の中で地域住民と信頼関係を構築し、住民の生活安全や交通安全はもとより、健全な地域活動を確保するなど、地域安全の総合機関として一翼を担ってきたところであり、当署の使命と役割は重大である。今後も、治安のよりどころである署として、地域住民の生活を守っていただきたく、板野警察署の存続を強く要望する。

熊本地震により被災されました皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。復興にお役立ていただければと、6月29日に藍住町議会議員より熊本県町村議会議長会へ義援金をお送りしました。一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

議会だより誤表示のお詫びと訂正

5月25日発行の議会だより(第85号)5ページ、16ページに字句の誤りがありました。

- ・5ページ見出し
(誤) 一般会計126億2,300円を可決
(正) 一般会計126億2,300万円を可決
- ・16ページ編集後記10行目
(誤) 多くの読者に
(正) 多くの読者に

以上のように訂正し、ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

定例会案内

次の定例会は9月です。
次号は11月に発行します。

本会議を傍聴しませんか

詳しくは議会事務局まで

お問い合わせ ● 議会事務局 637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載日を調整する場合があります。

～田んぼの生きもの調査～

広々とした田んぼやレンコン畑の向こうに山々が連なり、時折サギが舞い降りてくる。こんな風景を眺めながらの散歩に心癒されています。『田んぼの生きもの調査』に参加して、田んぼやレンコン畑を眺めながらの散歩がさらに楽しみになりました。

田植え後から中干し前の水田は水生生物の宝庫で、田んぼに水が入ると、土の中の卵からミジンコやホウネンエビなどが生まれ、イトミミズなども目を覚めます。やがて田んぼは、オタマジャクシ、ヤゴ、タニシ、ドジョウ、カエル、ザリガニ、トンボなど様々な生きものであふれます。近所の田んぼでは毎年カイエビがせわしく泳いでいます。

田んぼはお米を作るだけでなく、たくさんの生きものが暮らす所でもあるのです。田んぼと周りの生態系を知るとともに、豊かな生態系を保ちよりよい環境にしていくために全国各地で『田んぼの生きもの調査』が行なわれています。

生きものにふれる機会が少なくなった子供たちが“自然の恵みと命のつながり”を体験できる「田んぼの生きもの調査」を、藍住町でも取り組めたらいいですね。



議会のうごき

5月

8日 勝瑞城館跡まつり

10日 松茂町正副議長就任挨拶

20日 藍住中学校体育祭

26日 商工会通常総代会

26日 議会運営委員会

27日 女性議員視察調査（徳島市）

27日 福寿連合会定期総会

29日 徳島環状道路建設促進期成同盟会総会（徳島市）

30日 藍住町防災避難訓練（東小学校）

30日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京）

30日

2日 板野東部消防組合議会臨時会（北島町）

6月

23日

20日

14日

7日

6日

6月

6月

6月

6月

6月

6月

6月

7月

28日 議会運営委員会

28日 議会全員協議会

28日 徳島市正副議長就任挨拶

4日 松友美佐紀選手表敬訪問

4日 松友美佐紀選手壮行会（徳島市）

14日 町村議会広報クリニック（徳島市）

14日 町村議会広報クリニック（東京）

19日 徳島県町村議会議員研修会（徳島市）

28日 議会全員協議会

28日 藍住町防災団総会

29日 議会だより編集委員会

29日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会（徳島市）

29日 町村議会女性議員連盟総会（徳島市）

30日 納涼祭開会式

30日

30日

30日

30日

30日

30日

30日

30日

30日

30日

30日



山形県河北町より届いた紅花

編集後記

「良識の府」と言われる参議院選挙が、7月10日実施され、1票の格差は正で、憲政史上初の徳島・高知の合区選挙、そして18歳選挙権も初めて行使されました。若者の政治参加は、一定の評価があるものの、合区については、候補者や有権者から不満の声が出ています。徳島県の2・7倍の選挙区、歴史、風土、文化の違う両県にまたがる選挙は、候補者の声が充分届いたとは言えず、戦後最低の投票率46・98%（藍住町42・2%）からも分かります。国会において、地方軽視の合区解消に取り組んでいただきたい。（西岡 恵子）

議会だより編集委員会

委員長 徳元 敏行
副委員長 西岡 恵子
委員 林 茂子
委員 鳥海 典昭
委員 奥村 晴明